

D15c 西はりま天文台彗星観測チーム (NICOT) の活動

森 淳、坂元 誠、時政 典孝、太井 義真 (西はりま天文台)、井垣 潤也 (兵庫県立大学)

西はりま天文台では2004年11月に国内最大口径の2m望遠鏡がオープンする。共同利用観測というマシンタイムへの束縛がなく、自由度の高いマシンタイムの運用が可能な2m望遠鏡および既存の60cm望遠鏡を用いて系統的な彗星観測を計画している。この計画実現に向けて「西はりま天文台彗星観測チーム NICOT (NIshi-harima Comet Observing Team)」を立ち上げた。2m望遠鏡の稼働前に彗星観測を遂行するコアメンバーを編成し、彗星観測の経験を積んだ上で、2m望遠鏡での彗星観測に挑みたい。

NICOTは彗星観測の初心者を含むメンバーから構成され、現在は主に西はりま天文台60cm望遠鏡を用いて可視撮像および可視分光を行い彗星観測の経験を積んでいる。これまでにリニア彗星 (C/2002 T7)、ニート彗星 (C/2001 Q4)、ブラッドフィールド彗星 (C/2004 F4) の撮像および分光観測、リニア彗星 (C/2003 H1) の撮像観測を行ってきた。

本発表では立ち上げから現在までの西はりま天文台彗星観測チーム NICOT の活動を報告する。